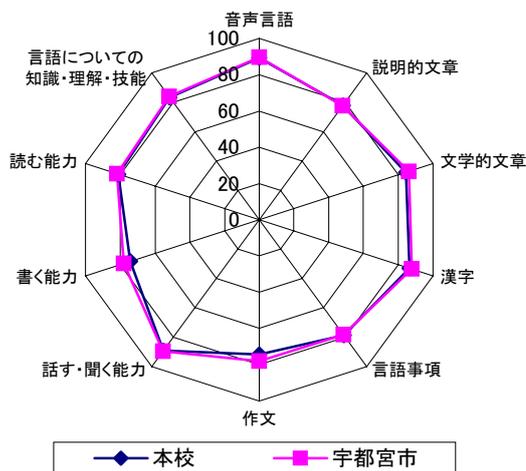


宇都宮市立宝木小学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	89.2	89.5
	説明的文章	77.8	77.6
	文学的文章	84.3	86.1
	漢字	86.4	87.6
	言語事項	78.8	78.3
	作文	74.2	77.9
観点別	話す・聞く能力	89.2	89.5
	書く能力	74.2	77.9
	読む能力	81.1	81.9
	言語についての知識・理解・技能	83.4	83.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (89.2%)	平均正答率は、市平均とほぼ同等だった。話の中心の聞き取りはできていたが、話の内容の聞き取りができていなかったり、話題に沿った質問に対して正確に書けていないところがあったりした。	話の聞き方や話し合いの仕方を、他教科や学校生活のいろいろな場面で指導していく。
説明的文章 (77.8%)	平均正答率は、市平均よりやや上回っていた。文章全体の内容の理解の正答率は市平均を少し上回っていたが、接続語の使い方・文脈に即した内容の理解・段落の要旨を捉えることの正答率が低かった。	文脈に即した内容の理解や段落の要旨のまとめでは、大切な語句や文章表現を押さえながら考えるように指導していく。接続語の使い方については、文中で接続語の使われ方を指導していく。
文学的文章 (84.3%)	平均正答率は、市平均より下回っていた。特に、場面の様子や、文脈に即した内容の理解の正答率が低かった。	登場人物の様子の理解や文脈に即した内容の理解では、登場人物の様子や気持ちのわかる語句や文章表現を押さえながら指導していく。 今後も読書活動を推進していき、文章表現に親しませる。
漢字 (86.4%)	3年生の漢字の読み、2年生の漢字の書きで、市の平均を下回っていた。	漢字スキルを活用し、筆順や形、読みや熟語等を練習させていく。また、文章を書いたり、写したりする際は、習った漢字は使うように指導していく。
言語事項 (78.8%)	慣用句やローマ字の読み方・国語辞典の使い方はできていた。しかし、常体と敬体についての正答率は、市平均より下回っていた。	常体と敬体についてももう一度確認し、日常の中での作文や日記等でも意識して使えるように指導していく。
作文 (74.2%)	手紙を書く問題の正答率は、市平均より下回っていた。手紙に後付けを入れることや呼びかける言葉を入れて書く正答率が低かった。	お礼の手紙を書く機会は何度かあったが、形式に沿った手紙を書く機会は少なかった。相手や目的をはっきりさせた手紙を書く機会を設け、手紙に必要なことを入れることや呼びかける言葉を入れて書く指導をしていく。